

情報公開文書

高齢者の方々のいきいきとした生活と健康寿命の延伸には予防が大事です。エビデンスに基づいたより効果的な介護予防対策を進めていくためには、高齢者のコホート研究（介護予防に関する知見を得るため、特定の地域や集団に属する人を対象に健康状態や生活習慣などを長期にわたり追跡する研究）が必要です。

香美町は、平成 25 年より国立長寿医療研究センター(元京都大学医学研究科教授)荒井秀典副院長らの研究グループと共同で、香美町の高齢者の方々を対象とした研究に取り組んでおり、それらを本町での介護予防のための政策に役立ててきました。

そして、この度、平成 29 年 4 月 1 日時点で 65 歳以上の町民の方々を対象に「香美町高齢者コホート研究」を計画しました。本研究により、香美町の高齢者の方々の健康長寿の要因や医療費や介護給付費を抑制する因子が明らかとなり、今後の要介護予防および医療・介護給付費削減に貢献することが期待されています。またこれらは、現在の超高齢社会に対応するための、次世代の国民に対する介護予防・健康長寿促進のための基礎データとなります。

香美町での「香美町高齢者コホート研究」にご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

<研究の概要>

1. 研究課題

兵庫県香美町におけるフレイル・要介護予防のための疫学的研究

2. 目的および意義

香美町の高齢者のフレイルおよび要介護状態の変化を今後も継続して調査させていただくことにより、それらの背景因子を抽出します。さらに、医療費や介護給付費データを連結し、要介護高齢者、医療費高額者、介護給付費高額者等のリスク因子の解明およびその因子の予測能を、因子同士の相互作用を織り込んだ精緻なモデルによって定量的に検討します。

本研究により、今後の要介護予防および医療・介護給付費削減に貢献することが期待されています。またこれらは、現在の超高齢社会に対応するための、次世代の国民に対する介護予防・健康長寿促進のための基礎データとなります。

3. 方法

対象は兵庫県香美町に居住する平成 29 年 4 月時点で 65 歳以上の全高齢者です。香美町が実施・把握している健康診査や医療費および介護給付費データを 1 年に 1 回抽出し、データベース化していきます。追跡期間は 5 年間で予定しています。また、平成 28

年3月に実施した高齢者の健康・生活に関する意向調査に協力していただいた方は、それらのデータとも連結されます。最終的に作成されたデータベースは、個人が特定される情報と切り離され、上記の研究目的を明らかにするために統計解析処理されます。

4. 提供されるデータと手段

健康診査データ、介護認定の有無、医療費および介護給付費データ、死亡データなどで、連結可能匿名化された情報にして共同研究施設に提供されます。対応表は香美町で管理されます。

5. データの利用目的及び情報公開について

データは個人が特定されない形で、統計処理を行い、香美町の介護予防のための政策提言のための根拠データとして利用させていただきます。また、高齢者に関する学会等で発表し、高齢者の介護予防のためのエビデンスを広く提言・発信していくために利用されます。なお、希望があれば、研究代表者に問い合わせることにより、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障のない範囲内で研究計画書及び研究方法に関する資料を閲覧することができます。

6. データ提供の拒否権について

本研究のために個人のデータ提供を希望しない場合は、拒否することができます。その場合は、今後の保健福祉サービスに関して不利益を受けることは一切ありません。

※ 本研究の対象は、平成29年4月1日時点で65歳以上の町民の方々になります。左記に該当する方で、この研究についてのご質問や研究協力の拒否を希望される方がございましたら、お手数ですが下記のいずれかの連絡先までご連絡いただきますようお願いいたします。

香美町地域包括支援センター（福祉課内）

Tel & Fax 0796-36-4004

国立長寿医療研究センター 理事長 荒井秀典

Tel & Fax 0562-46-2311(代)

名古屋大学大学院 准教授 大倉美佳

Tel & Fax 052-719-3151

なお、本研究の実施は、国立長寿医療研究センター倫理・利益相反委員会での承認および名古屋大学生命倫理審査委員会の承認を得て実施しております。